

子育てを共に No.1

核家族、夫婦共働き家庭の多い当園は、産休明けからの赤ちゃんを初め、1～6歳のお子さんを大勢お預かりしている、こども園です。

4月入所の方は、昨年10月に保育園等入所申込をして、区役所から入所決定を買った皆さんです。そして、5月以降は例年同様に、育児休暇終了して職場復帰の方や、新たに家庭外就労をされる方が途中入所をして来られます。

国内では、少子化が進行しており、以前、大都市等で保育園等に入所できずに、待機児童が大勢いた頃とは対照的になっております。

当園でも数年前より、若干の定員割れが生じており、過密な状態から解放され、余裕を持って、クラス運営ができております。これからも更に、教育・保育の質の向上を図り、お子さん達に、より内容の充実した関わりをいたして参ります。

こども園とは

就学前のこどもに関する教育、保育等の、総合的な提供の推進を行う施設です。

こどもに対する教育、保育内容は、保育園や幼稚園と同じになっています。

(保育教諭の配置基準)

・満1歳未満児	= 3:1	・1～3歳児	= 6:1
・3歳児	= 20:1	・4歳以上児	= 30:1

※ 当園は、基準内の配置でお子様の、教育・保育を行っております。

保健衛生関係

今年も、新型コロナウイルス感染症が続き、世界中が戦々恐々として今日を迎えています。この梅雨時期は、例年、夏風邪や、溶連菌感染症、感染性胃腸障害等が流行しておりますので、十分ご注意ください。今のところ園内では、感染症は発症しておりません。しかし、慢心せず、これからも十分に気をつけたいところです。

特に感染性胃腸炎は、感染力が強いために、地域ぐるみで予防に努めなければなりません。一人ひとりが自覚して、年間を通して下記の点について十分に留意し、病気予防に努めましょう。

- ◎ コロナ対策の「マスク着用」は、みんなで実行しましょう。
- ◎ 手洗いを丁寧に、しっかりしましょう。
- ◎ 外から帰ったら、うがいをしましょう。
- ◎ 人混みには、なるべく行かないようにしましょう。
- ◎ 咳の出るときは、ハンカチやタオルで口を覆いましょう。
- ◎ 肉は、しっかり火を通して食べましょう。

胃腸炎の対応について

この病気は、年間を通して多く発生していることから新潟市役所より各施設へ、また各ご家庭への啓蒙依頼が出ていますので、下記に注意事項をお伝えいたします。衛生に十分留意し、みんなで病気予防に努めましょう。

- (1) おむつ交換時をはじめ、いつも、流水による手洗いや、うがいを励行する。
- (2) 規則正しい生活を送り、免疫力を高めておく等、健康管理に気をつける。
- (3) 感染性胃腸炎に罹った人の、嘔吐物などからウイルスが飛散し、他の人へ移る可能性が高いので、速やかに嘔吐物の処理を下記の方法で行う。

嘔吐物等の処理方法

1. 窓を開け、換気をします。
2. トイレットペーパーなどで周囲に広がらないように包み込み、ビニール袋に密閉し、廃棄物(燃えるゴミ)として処理します。
3. 嘔吐物・便を片づけた雑巾類もビニール袋に密閉し、廃棄物(燃えるゴミ)として処理します。
4. 嘔吐物・便で汚れた場所は、塩素系漂白剤を含ませた布で被い3分以上放置して消毒します。(0.1%の塩素系漂白剤による消毒が望ましい)
500mlのペットボトル1本の水に塩素系漂白剤(またはハイター)10cc(ペットボトルのキャップ2杯)
5. 有症状者の吐物が付着した着衣などは、他の物を区別して洗濯した後十分すすぎ洗いをしましょう。
使用した洗面所などもよく洗い、消毒します。
処理後は、手洗い・うがいを実施し、状況により着替えます。

- ◎ 身体が疲れていると、病気に罹りやすくなります。
土曜日・日曜日は、ご家庭でゆっくりと身体を休めるように心がけて、1週間の疲労回復に努めましょう。
- ◎ 胃腸障害のある時は、消化の良い食事の配慮をしてあげましょう。
- ◎ 下痢等の様態が完治したら、必ず通院し、主治医から「登園OK」の許可を買ってから園にお連れくださいますよう、ご協力お願いいたします。
- ※ 完全に治っていないのに、登園されると、他のお子様にも感染させる場合がありますので、上記厳守をお願いいたします。

子育てを共に No.2

つくしこども園

子どもの健康を守ろう！



さて、当園では、年間を通して0～5歳児全員に、「早寝・早起き・朝ごはん運動」を啓蒙しています。

規則正しい生活を送っているお子さんは、心身共に健康に育つと言われていています。睡眠を十分に取り、朝、自分で目覚める子は、機嫌が良く、知的・運動能力が高く、明朗活発できびきびしています。そして、お話しを聞く態度ができていて、集中力、適応力、創造力も旺盛です。

体力・知的能力・判断力・持続力・忍耐力等は、毎日の家庭生活や園生活の中で育っていきます。どの子どもみんな健康な身体で、しっかり考えて行動をとり、安心・安全な毎日を過ごすことができますよう、日々の保育・教育を勧めているところです。

そこで、今年度も「生活リズム調査」を実施して、統計を出し、保育に反映させて参ります。毎年の実施内容を見ると、幼児期では考えられないようなケースもありました。

従来、問題ケースの改善への取り組みが、まだまだ消極的だったことを反省し、もっと真剣に分析したり、子ども達へのアプローチの工夫をして、ご家庭との相互理解、連携をしっかりと図って、改善に向けて参りたいと考えております。

「子どもの体内時計を夜型から、朝型に切り替えましょう！」

園での改善策としては、こども達の活動開始時間を早くして、午前のおそびの充実を図っています。ほとんどの方が頑張ってお早起きの習慣づけをされていますが、まだ朝寝坊をしているお子さんには、お母さん達がもう少し早く起きて、ご苦労しなければなりません。大変でもお子さんの健康のために登園時間 8:30～8:45 目指して頑張ってくださいませよう、よろしく願いいたします。



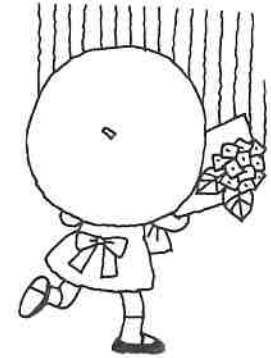
イキイキした、元気な子に育てましょう！

【現代っ子の特色】

- ◎ 小食・偏食・食欲のない子
- ◎ 食事に時間がかかりすぎる子

- 元気よく遊べない
- お散歩や活動的なあそびが苦手
- 体が弱く・病気になりやすい
- 気力がない

等の子ども達が多くなっています。



子どもが子どもらしく、元気よく生き生きと遊んだり、「生活を送る事ができるように」周囲の大人は、もっともっと真剣に『こどもの生活リズムづくり』に取り組んで行かなければなりません。

子どもの生活リズムを大切にして、子ども達の体調を万全に保ってやる義務を、私たち大人は背負っています。

まず、『早起き』を実行させて早寝早起きの規則正しい生活リズムを身につけさせてあげましょう。

『早寝・早起き』の習慣づけをしましょう！！

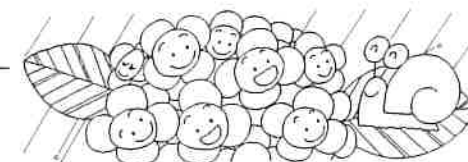
ポイント

- ① 夕食を早く食べさせる PM6:00～7:00
- ② 早く寝せる PM8:00～8:30

(目標)

- 起床 AM 6:00
- 就寝 PM 8:00

※ 目標に近づけるよう、頑張りましょう！



令和3年6月22日

子育てを共に No.3

つくしこども園

「心も体も健康な子どもに育てましょう！」

世界中で猛威をふるっている、新型コロナウイルス感染症は、緊急事態宣言後も、未だに東京を中心に、都道府県各地で感染者が発生しています。

また、日本では、毎年増え続けている虐待や子殺し、親殺し、青少年の殺人、自殺、傷害事件等、悲惨な事件が後を絶たない今日です。小学校では1年生から授業が成り立たない学校や、学級崩壊、悪質・陰湿ないじめ、不登校、引きこもりも多くありました。また、暴力、殺傷事件の横行等と、青少年の非行問題が益々低年齢化して増加し、尊い命もたくさん失われております。

“その原因は？”“背景にあるものは？”など、子どもの心の育ちを巡る問題の対応策については、警察の動員にまでなり、憂慮されております。

新潟市内でも、虐待や発達障害等の問題が、あります。

当園でも、「気になる子」が毎年いて、限られた職員配置では、個別対応が丁寧に来なくて、苦慮している今日です。

全国的にも、保育園やこども園、幼稚園での様々な問題を持つ「発達障害児」が、どんどん増えてきている今日から、大きな問題になっています。

そのケースを掘り下げてみると、子ども達の育ちの中に共通した問題点が見えてきているようです。それは、家庭環境だったり、親としての自覚不足だったり、親の愛情不足だったり、逆に溺愛や過保護、過干渉だったり、未熟な親による虐待だったり、様々です。子どもにとって、**家庭は、一番安心できる基地**です。

でも、その大切な家庭が危機なのです。

今日では、核家族化、両親共働き家庭が当たり前になり、子育てが困難な時代になっております。特に父親の単身赴任や、帰宅時間が遅い家庭では、母親の育児負担が大きくなっています。そして、親子共に、いろんな問題が発生しています。家庭だけでの子育てには、限界があり、こども園、保育園等や、地域ぐるみの育児支援が必要とされています。

そのため、大切な乳幼児期の保育支援を任されている、こども園・保育園の役割は多様化し、責任も一段と重くなってきています。

少子高齢化が、益々進行する時代の中で、かけがえのない大切な子ども達です。0歳から3歳までの大切な時期に、子ども達が全員「人間」としての基礎をしっかりと築いていけるように、子育て支援を、職員と全家庭と一緒に、一生懸命頑張って参りたいと考えております。



- ◆ 「生きる力」を身につけ、新しい時代を切り開く、積極的な心を育てる。
- ◎ 自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力

生きる力

- ◆ 正義感、倫理観や、思いやりの心など、豊かな人間性を育もう
- ◎ 正義感や倫理観等の豊かな人間性
- ◎ 健康や体力
- ◎ 美しい物や、自然に感動する心などの柔らかな感性5



豊かな人間性

- ◎ 正義感や、公平さを重んじる心
 - ◎ 生命を大切にし、人権を尊重する心などの基本的な倫理観
 - ◎ 他人を思いやる心や、社会貢献の精神
 - ◎ 自立心、自己抑制力、責任感
 - ◎ 他者との共生や、異質なものへの寛容
- 等の心が子ども達に育まれるように、私たち大人は足下を見直して改めるところは改め、様々な工夫をしながら努力して参りましょう。

社会全体のモラルの低下を問い直しましょう

- ◎ 子どもに伝えるべき事をしないで、躰への自信を失った大人 社会は、まさに「次世代を育てる心を失う危機」に直面しています。私たち大人は、率先してモラルの低下を是正し、この危機を乗り越えていかなければなりません。今、直すべき事を1つ1つ実行していきましょう。
- ◎ 家庭、地域社会、学校さらには企業、メディアそして、国や地方公共団体が、それぞれの立場から、なすべき事を1つ1つ実行していかなければなりません。

異年齢集団で切磋琢磨する機会に、積極的に参加しましょう！

- ◎ 身近な地域のボランティア、スポーツ、文化活動、青少年団体の活動、地域の行事などに、積極的に参加させましょう。

問題行動に、毅然として対応しましょう

- ◎ 「まじめさ」や「異質さ」に対する不当な「いじめ」を許さないようにしましょう。
- ◎ 情熱を持ち、毅然とした姿勢で、校内暴力などの問題に一生懸命努力する学校の教員等を支え、励ましていきましょう。
- ◎ 日頃から保護者や学校の有識者からの助言を得て、問題行動への対応方針、警察等との連携方針を確立しておきましょう。

家庭

- ◎ 「していいこと」「悪いこと」をしっかりと教えましょう。
- ◎ 「みんながしているから……」という子どもの言い分には負けず、「我が家では、そんなことは許しません」と、毅然とした態度で対応しましょう。
- ◎ 子どもの欲求を、全部受け入れることが、愛情ではありません。いけないことをした時は、ピシーッと叱る事も大切です。叱る＝教育です。特に3歳までは、しっかり関わって善悪の区別をしっかりと教えてあげましょう。